

CONTENTS

同窓会の活動	1	同窓会特別掲載記事	5
学園の行事	2	平成10年度同窓会会計報告	6
同窓生からのたより	3		
同窓生の近況	4		

同窓会の活動

◆ 新同窓会名簿発行

これまでも「SEASIDE」紙上でお伝えして参りましたが、湘南学園創立70周年を記念して同窓会名簿が発行されます。

計画から約5年間をかけ、調査・訂正をくり返し行って、2003年度末を目標に作業を進めて参りました。

この間、多くの同窓生の方々がボランティア活動に参加いただき、内容の充実をはかり、見やすさや使いやすさを追求した名簿作りを行って来ました。

〔10年前は卒業生名簿〕

学校法人湘南学園主体で同窓会が協賛し、学園60周年に発行された名簿は卒業生名簿でした。

この名簿は学園が専門業者に依頼し、作成されたものですが、学園の各パートを卒業された方々が記載されておりました。

今回の同窓会名簿との大きな違いは、卒業生と同窓生の定義のとらえ方の点です。

◆ 新名簿の主旨と記載の特徴

同窓会では、新名簿作成にあたり、企画の段階から論議を重ね、以下の様な事を決定して編集しました。

- 1) 同窓会の定義：湘南学園を卒業した方だけではなく、在籍の実績がある方をできる限り記載する同窓生名簿とする。
- 2) 個人のプライバシー保護重視の観点から、個人情報の記載について、現状で連絡がとれる全ての方々にアンケートはがきをお送りし、ご要望を盛り込んで進めました。
- 3) 未成年（満20歳以下）の同窓生の方々については、保護者の方のご理解が必要になるとの見解に達し、今回はその了承確認作業が進められなかった事から氏名のみ掲載としました。従って、その年代の方からのご希望に対し、無料にてデータをお送りします。

（註）この方々のデータは同窓会で把握しておりますので、クラス会等で必要があれば、その主旨を確認させていただき、いつでもご活用が可能です。

- 4) 不明になっている方々は、各クラスで明確になる様、Aミ版をかけて氏名のみ記載としました。

この目的は、

- A) 同じクラスの方に不明の方を簡単に認識して頂く事。
- B) 将来調査する方が誰であるか意識していただく事。
- C) 名簿紙面上の空白をできる限り、少なくして、解りや

すく、見やすい名簿とするとの主旨で決定しました。

- 5) 個人情報とは各々個人の最終卒業パートに、また、中途退校の方々についても最終卒業見込みとなるパートに、個人のご希望を盛り込み記載してあります。

- 6) 同窓会の主旨として、今回の名簿が会員皆様の相互親睦のお役に立ち、より多くの会員の方々に手にとってご愛用いただくことが目的です。名簿販売による資金の補充や回収を目的としてはおりません。

さらに、名簿の整備が母校湘南学園に対しても寄与するところが大きいと考え、名簿専門業者への単純委託ではなく、全てを同窓生のボランティアに託して進めたものです。またこの作業により、同窓会自体のデータの的確性が、かなり充実してきたのも確実です。皆様の意見を集約、尊重し制作に当たり、その結果として、以上の様な特徴をもった名簿の記載方法となりました。

◆ 2003年度常任幹事会の活動

2003年度新名簿発行の年を迎え、常任幹事会のメンバーの一部変更がありました。新常任幹事会メンバーを以下に紹介致します。

会 長	田端 恭蔵	(高昭28年卒)
副会長	出羽 仁	(高昭46年卒)
常任幹事	金井 之和	(高昭30年卒)
	鈴木 吉英	(中昭34年卒)
	杉崎 一雄	(高昭43年卒)
	富岡 貞靖	(高昭31年卒)
	中嶋 登	(高昭46年卒)
	日根野 斉	(高昭46年卒)
	堀井 義一	(高昭46年卒)
	倉沢 条太	(高昭48年卒)
	前田 忠厚	(高昭59年卒)
	宮島 直丈	(高昭59年卒)
	山口 佳久	(高昭60年卒)
会計監査	吉田 伸次	(中昭34年卒)

上記メンバーの活動は、名簿製作に注力して行われ、昨年の4月から8月の期間は月2回のペースで常任幹事会を開き、名簿の内容や構成、写真の選定などを進め、大詰めの9月以降は、月4回（毎週土曜日）に回数を増やして、会員名簿の訂正・更

新をくり返し行って来ました。

さらに、中途転出の方々の名簿復帰のため、学園に現存する生徒名簿を細かく照らし合わせ、可能な限り掲載出来る様努力して参りましたが、これが最大の難関でした。

これらの作業にご協力頂いたボランティアの皆様は、2003年度だけで延べ250人を超えました。

計画立案から5年、実行段階に移ってから3年の歳月をかけて、価値ある同窓生名簿の完成も間近になりました。

お手伝い頂いた同窓生の皆様、本当に有り難うございました。皆さんの努力の結晶が名簿となって、間もなく完成致します。

完成後は、できるだけ多くの会員の皆様に活用していただけることを希望し、販売を続けて参ります。また、このデータは同窓会の貴重な基礎財産となって残ることでしょう。

なお今年度はこの他、9月に学園祭に参加、12月には学園創立70周年記念コンサートに協賛致しました。

◆ 名簿の改訂にあたり

同窓会では、以下の様な方法で名簿の訂正を行って来ました。

- 1) クラス会・学年同窓会・各パート合同の同窓会が行われた際に新しく作成された名簿を連絡いただき、それに基づいての訂正。
- 2) 各クラブ・同好会が行われた際に新しく更新されたクラブ名簿を利用させていただき、訂正する。
- 3) 会報 SEA SIDE のクリップボードに寄せられた住所変更や学園事務及び同窓会事務局に寄せられた変更連絡による訂正。
- 4) 常任幹事が年代を区切って追跡調査（知人・幹事兄弟・親子などを通じて）をした結果をもとに訂正をくり返して来ました。

◆ 湘南学園からの提供情報

この他に「かたろう会」での調査によるデータの更新がありました。

「かたろう会」は湘南学園が卒業後20年目と25年目の卒業生を対象に母校に集い語り合う場を設ける学園主催のイベントです。同窓生の間では、とても有意義で、皆が集うきっかけにもなり、楽しいイベントであると好評です。さらにこの時に住所の変更や不明の方々を調査するきっかけになったり、途絶えていたクラス会や学年同窓会が復活する事もしばしばあるようです。

学園がこのようなイベントを企画実行された事に感謝し、是非これからも長く続けて欲しいと願います。

◆ 名簿広告ご協賛への感謝

今回の名簿では、巻末に同窓生の方々のお店やお仕事等のアピールの場として、広告欄のページを設けました。

この広告ページに39件の同窓生の方々協力して下さいました。不況の折にもかかわらず、誠に有り難うございました。

同窓会としては、できる限り、皆様のご趣旨に沿って掲載させて頂きましたが、不備がありましたら、お許し下さい。

広告頂いた方々のアピールが同窓生やクラスの方々の親睦や発展に結びつくことを願っております。

これからも宜しくお願い致します。

◆ 同窓会名簿の購入方法

すでに一昨年より多数の方々から名簿の予約申し込みを頂いております。皆様には近々お手元に名簿をお届けできる予定です。楽しみにお待ち下さい。

同窓会では引き続き名簿を継続販売致します。お早めに以下の方法でお求め下さい。

- ① 2004年3月下旬（予定）頃から学園事務室にて頒価4500円にてご購入いただけます。
- ② 同封の名簿用振込用紙4500円を使用して代金を振り込んで下さい。住所・氏名・電話番号・卒業年度を明記して下さい。郵便等にて名簿をお送り致します。幹事が直接お届けする場合があります。

◆ 名簿作成においてご協力いただいた方々へのお礼

前述致しました様に今年度だけでも同窓生ボランティアの方々、延べ250人を越え、実行段階からの数ははかり知れません。心より感謝いたします。

また学園内部でも同窓会の主旨を快くご理解頂き協力して下さいました水野元学園長をはじめ同窓会担当の滝川先生、名簿のデータベース等で大変なご尽力を頂いた後藤先生、さらに何度となく幹事会を開き、その度にお手数をお掛けしたにも拘わらず、快くご協力いただいた南条元事務長ほか事務職員の皆さん、他多くの学園の方々にもお世話になりました。大変有り難うございました。今後も宜しく願い申し上げます。

同窓生ボランティアにおいて、特に活動に陰で訂正・校正など多大なご協力いただいた北村（山田）佳子さんや、名簿本文の原稿作りに力を発揮してくれた浜田次保さんには忙しい急ぎの仕事の快く引き受けていただきました。この場を借りて、同窓会を代表して心から感謝致します。

◆ 年会費納入のお願い

すでにご案内の様に同窓会は全てボランティア活動で運営されており、皆様からの年会費が年間の活動を支えています。

ここ数年の間、会計報告にもあります様に、皆様からの年会費の納入数が大変減少して同窓会活動の運営が苦しくなっております。1人でも多くの方にこの運営維持活動をご理解いただき、一口でも多くの会費納入をお願い致します。

特に今年度は新名簿の製作費として約1,100万円を支出します。また会報も今号と年末の2回発行を予定しています。この費用にも500万円程度が必要となります。

新名簿は、1冊当り10,500円の製作費に対し、頒価は4,500円と格安にて皆様にご提供致します。これは販売による資金増収が目的ではなく、多くの同窓生の方々に新名簿をご活用いただく事で、これまで備蓄してきた貴重なお金を名簿という形で皆様に還元することが主旨であります。

この他、通信費、学園祭参加費、学園及び生徒会等の各イベントへの寄付金、慶弔費、常任幹事会運営費など様々な費用が必要となります。（以上に関しましては、常任幹事会の責任において、毎年本紙上の会計報告にてご覧いただいておりますので、ご参照下さい。）

以上、全ての活動は皆様よりの年会費によって支えられています。どうか多くの方々の力でスムーズな運営が出来る様、年会費お一人2,000円のご納入を宜しくお願い致します。

◆ 年会費振り込み方法

本年よりこれまでの郵便局のみの振込から振込用紙を改めて各銀行での振り込みも可能となりました。皆様の振り込み作業

のお手間が少しでも便利になればと努力しております。重ねて宜しく会費ご納入を乞う次第でございます。

学園の行事

◆ 創立70周年記念コンサート

(主催：学校法人湘南学園、湘南学園 PTA、後援・藤沢市教育委員会、湘南学園同窓会)



指揮者 広上淳一氏

2003年12月14日藤沢市民会館大ホールで創立70周年記念コンサートが盛況のうちに行われました。

指揮は65周年記念コンサートに引き続き、広上淳一氏。1977年に学園を卒業し、東京音楽大学へ進み、国際青年指揮者コンクールで優勝するなど、国際的にも注目を浴びました。スウェーデンやイギリス、オランダなど、世界を舞台に活躍され、21世紀の音楽界を担う指揮者のひとりとして幅広い活動を続けられています。そして、今回のピアノ演奏は湘南学園中学に在学中の江夏(コウカ)真理奈さん。国内外数多くの大会、コンクールで優秀な成績を修められました。



今回のイベントを協賛した同窓会としても、お忙しい中、母校の記念すべき時にタクトを振って下さった広上さんに変な感謝するとともに、世界で活躍されている同氏を非常に誇りに思います。今後益々のご発展をお祈りします。

そして江夏さんの、今後のさらなる活躍を期待いたします。管弦楽は東京都交響楽団でした。

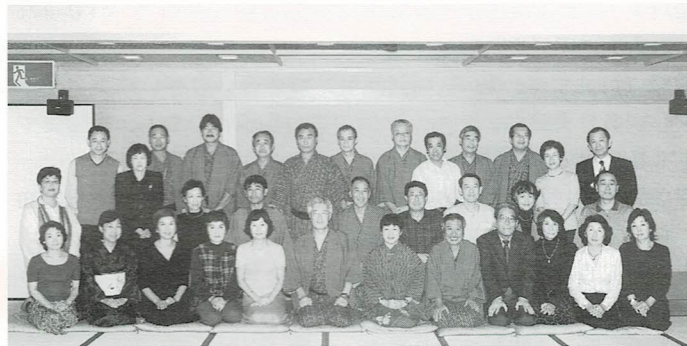
同窓生からのたより

◆ 高校第10回生同窓会

紅葉の美しい季節となりました。

私ども第10回高等学校卒業生は、10月13日(祝)に奥湯河原温泉郷にある山翠楼に1泊2日の同窓会を設定致しました。今年還暦を迎え、今迄2年に1回の同窓会とは趣向を変えるべく計画致しました。

外国で生活している3人の女性、井上ひなさん・奥平由加子さん・向山喜美子さん(いずれも旧姓)が参加出来ればと、半年間に渡って連絡を取り合いましたが、それぞれ都合があり実現しませんでした。



当日は雨でしたが、33名が集まり、美味しい京ゆば懐石料理と酒をさかんに二次会・三次会と夜の更けるのを忘れて楽しく思い出を語り合いました。

すでに八割の方々が60歳をむかえて居り、定年退職した方々あり、まだ現役でバリバリの方あり、他方では、年金制度についても熱く語るひともありまして、孫の話をうれしそうに

する方あり、様々でした。

二次会では、小山光子(旧姓)さんが、歌詞も正角に覚えており、美しい声で学園歌をうたって下さり、一同感動しました。

ここに一同でとりました集合写真を同封致します。又この機会に名簿も整理致しましたので、必要でしたら、ご連絡下さい。

平成15年11月

岩原泰子(旧姓波多野)(高校第10回卒)

◆ 文芸部同窓会

こんにちは。昭和50年卒の文芸部です。今年7月13日の日曜日、雨のそば降る中を、卒業以来、初めての同窓会を開催しました。1976年に卒業してから初めての同窓会ということで、私達も、もういい年になっているので、お互いに顔が解らなかつたらどうしようと案じていましたが、皆変わってなくて(特に平井先生に注目!)まだ若いのだわ、と安心しました。私達は、高校入学と同時に、ちょうどその年に着任してこられた故岸田寛先生、まだ大学院生で講師としていらしていた平井満先生にお世話になり、短歌の会や読書会・文学散歩等の活動をしていました。特に、小諸への初めての一泊旅行は、懐かしく、楽しかった思い出です。お二人の博学な先生に恵まれ、私達はラッキーだったと思っています。残念ながら後輩が続かず、私達の文芸部は4年間で終わってしまいましたが、今でも学園には文芸部ってあるのでしょうか?とにかくユニークなメンバーが揃っていました。当日、一行は2時に平塚駅に集合し、まず故岸田先生のお墓に感謝と追悼の念をお捧げし、その後、藤沢の居酒屋さんで大コンパを繰り広げました。これからは平

井先生に顧問の先生になっていただき、定期的に例会を開いて、お勉強したいなと考えています。

学びの家の湘南学園魂よ、いつまでも！

文責 上遠野 万由里（旧姓 鈴木）

同窓生の近況

✦ クリップボード（敬称略・順不同）

ここに掲載のお便りは会費払込票の通信欄にご記入いただいたものです。同級生への呼び掛け等にもご利用下さい。

なお住所を変更された際は、会費払込票の通信欄にお手元に届きました封筒宛名ラベル左下の「同窓生No.」と「新住所」である旨を必ずご記入願います。

●住所が変わりました。

森喜太郎（幼43回生）〒143-0025 大田区南馬込5-17-8-102
岡村純治（幼55回生）〒251-0038 藤沢市鶴沼松が岡3-8-14
北本晴子（幼55回生）〒251-0038 藤沢市鶴沼松が岡1-9-12
田中啓志郎（幼55回生）〒251-0038 藤沢市鶴沼松が岡1-9-11
石垣辰悟（幼58回生）〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町884-1-417

近藤（旧姓高橋）玲子（小33回生）〒252-0804 藤沢市湘南台4-24-8 ドミール湘南103

藤井真（中16回生）〒180-0006 武蔵野市中町3-16-13-103
2002年5月にインド（マドラス）から戻りました。

池田裕文（中21回生）〒248-0033 鎌倉市腰越3-1-23
大森茂充（中9回生）〒251-0024 藤沢氏鶴沼橋2-4-3
坂本義次（中9回生）〒151-0053 渋谷区代々木5-29-7-403
北川源太郎（中9回生）〒259-0124 中郡二宮町山西369-2
山田治子（高10回生）〒177-0051 練馬区関町北3-48-4
白井章（高11回生）〒086-0212 北海道野付郡別海町別海鶴舞町6-27

森田（旧姓柳田）和子 〒252-0804 藤沢市湘南台4-7-2 サンライズビュー1201

石井（旧姓原田）久江（高20回生）〒230-0041 横浜市鶴見区潮田町1-38

津田稔（高20回生）〒248-0033 鎌倉市腰越4-3-19
小熊（旧姓吉田）通子（高22回生）〒250-0872 小田原市中里360-9

桑原彰（高24回生）〒560-0051 豊中市永楽荘2-12-23
石田秀樹（高26回生）〒251-0871 藤沢市善行2-1-2
小山直樹（高27回生）〒371-0036 前橋市敷島町245-3
浜田次保（高31回生）〒253-0008 茅ヶ崎市芹沢5450-49
黒田喜一郎（高31回生）〒248-0013 鎌倉市材木座5-11-47
和田（旧姓鈴木）幸恵（高31回生）〒950-0842 新潟市もえぎ野2-7-1

事務局の方々ご苦勞様です。結婚し新潟に住んで9年。実家へ帰るたび楽しみに SEASIDE 読ませて頂いておりましたが、名簿発行とのこと、慌てて現住所・現姓をお知らせいたします。よろしく願いいたします。

宮島直丈（高32回生）〒251-0032 藤沢市片瀬5-4-16 サクラハイツ102

大場純（高32回生）〒223-0062 横浜市港北区日吉本町2-33-38-206

須田加奈子（高33回生）〒246-0003 横浜市瀬谷区瀬谷町5812 細谷戸ハイツ9街区6号棟109

丸山太郎（高33回生）〒143-0026 大田区西馬込1-8-9-305
村田（旧姓安原）雅美（高35回生）〒216-0035 川崎市宮前区馬絹1767-7 ファミネス宮崎台408

市川（旧姓長岡）万里（高36回生）〒225-0003 横浜市青葉区新石川3-10-1-611

新野（旧姓大道）康子（高39回生）〒227-0053 横浜市青葉区さつきが丘14-16-103

見方亮（高39回生）〒461-0025 名古屋市東区徳川1-616 須賀工業（株）徳川寮310号

木下（旧姓見方）知春（高42回生）〒192-0375 八王子市鍵水2-82-5-1003

板垣成俊（高44回生）〒245-0007 横浜市泉区桂坂17-25
大森祐亮（高46回生）〒251-0024 藤沢市鶴沼橋2-4-3
高橋靖明（高48回生）〒241-0814 横浜市旭区中沢3-12-16

●住居表示変わりました

宮澤光久（高9回生）228-0803 相模原市相模大野7-25-4
河野真行（高27回生）〒247-0033 横浜市栄区桂台南2-15-17
河野（旧姓武井）千春（高27回生）〒247-0033 横浜市栄区桂台南2-15-17

●お便り

船戸東一（小13回生）今回は初の同窓会加入者です。残り少ない人生に元気を。

佐野（旧姓根岸）和子（高8回生）つき合いの悪い卒業生で申し訳ありません。でも、学園の思い出は、いつも、いつまでも私の宝です。

伊藤等（高16回生）卒業生も参加できる学園行事を前もって知らせて頂けたら幸いです。

永井（旧姓村上）留美子（高26回生）同窓会会報ありがとうございます。なつかしい名前がチラホラ…。名簿の出来上がるのを楽しみにしております。

福富暢行（高43回生）事務局の皆様いつもありがとうございます。学園のニュースが分かりよかったです。

●訃報（ご冥福をお祈りいたします）

鎌田直行（高19回生）：平成12年10月6日逝去

石坂清先生（元幼稚園・小学校主事）平成15年11月24日夕逝去